

森づくりサポーターニュース

平成24年(2012)1月1日発行

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0101 守山市今浜町3089 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス moridukuri@ex.biwa.ne.jp URL <http://www.ex.biwa.ne.jp/moridukuri/>

秋のサポーター活動

秋晴れの清々しい空気の中、第3回サポーター活動が10月9日(日)に開催され、たくさんのサポーターさんに参加いただきました。

「ふれあいゾーン」において、この時期大量に繁茂している葛の除去を中心に散策路周辺の除草・間伐・枝打ちと作業をしてくださいました。おかげさまで葛にまかれて窮屈そうだった木々がのびのびした姿になりました。ありがとうございました。



グミの剪定作業



間伐・枝打ちの作業



除草作業



木々に絡みつ়く葛の除去作業

ガールスカウトの皆さんは、中村先生の自然教室「どんぐりのお話」を聞いたり、サポーターの皆さんと一緒に菌打ちをした椎茸の「ほだ木」を観察し、大きく成長した椎茸にびっくりしていました。そして、採取したどんぐりの実生苗を「どんぐり畑」に植え付ける作業をしました。その後、サポーターさん達と一緒に隣接する今浜自治会主催のコスモス祭りに招待していただき、地元の皆さんが丹精込めて種から育てられた美しいコスモスのお花畑を楽しみました。また、お昼には珍しいちんどん屋さんの紙芝居を観ながらおいしい豚汁をいただきました。



みんなで菌打ちをした椎茸の「ほだ木」の観察



どんぐりの実生苗の植え付け

びわこ地球市民の森では、今後の保育管理や密度管理などの基礎資料とし、適切な森づくりに役立たせたいと考えて植栽苗木の生育状況を定期的に調査しています。

2011年6月上旬～下旬にかけて調査地（5m×5m）27箇所で樹種、生立本数、樹高の調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

□全体の生育状況

今回の調査対象は、つどいのゾーンで7箇所、ふれあいゾーンで11箇所、出会いのゾーンで5箇所、里の森ゾーンで4箇所の合計27箇所でした。

各ゾーンにほぼ共通して植栽されている主な樹木としてクヌギ、コナラ、スダジイを選択してその生育状況をご紹介します。各ゾーン代表の1地区を紹介しますが、里の森ゾーンは、初めての詳細調査地区のため比較ができないのでここでは省略します。

各ゾーンに植栽された落葉樹2種類および常緑樹1種類の樹高を調査年度で比較しますと下記表のとおりでした。前回調査は、2009年の春から夏に行われていました。

今回の調査でわかった主なことを列挙します。

- ・コナラとスダジイの樹高生長から、出会いのゾーンーA地区の生長が群を抜いて良好なこと
- ・3樹種に共通して森づくりのスタート地であるつどいのゾーンーチキュウ（東）地区の生長が特におもわしくないこと



森づくりのスタート地、つどいのゾーンーチキュウ（東）地区の現況

別途行った「土壌生物調査」の結果でつどいのゾーンーチキュウ（東）地区は最も未成熟な土地の状態と判定されましたが、それと同じ結果となりました。廃川敷で森づくりをする参考事例がなかったことや多くの難しい課題があったからだと思われます。当初（11年前）に行われた造成の影響が今も続いていると考えられ、基盤土壌の大切さを強く知らされました。その後は、適切な造成が行われてきて、全体的には概ね順調に生長してきています。

○つどいのゾーンーA地区（2002年植栽地）

落葉・常緑広葉樹（cm）				
調査年度	クヌギ	コナラ	スダジイ	平均
2009	493	443	434	457
2011	667	601	574	614
樹高生長	174	158	140	157

○ふれあいゾーンーC地区（2003年植栽地）

落葉広葉樹（cm）				
調査年度	クヌギ	コナラ	スダジイ	平均
2009	406	329	—	368
2011	605	436	—	521
樹高生長	199	107	—	153

○出会いのゾーンーA地区（2006年植栽地）

落葉・常緑広葉樹（cm）				
調査年度	クヌギ	コナラ	スダジイ	平均
2009	—	108	113	111
2011	—	297	261	279
樹高生長	—	189	148	168

今回も、お釈迦さまにちなんだ樹木のお話です。

【菩提樹】

菩提樹（ぼだいじゅ）は、シナノキ科のシナノキ（「科の木」）属の落葉高木です。中国原産で、初夏の頃、小さく黄色っぽい、目立たない花を咲かせます。葉は鋸歯のある三角状の広卵形です。同属のシナノキは日本の温帯林を代表する樹種のひとつで、全国の山野にみられ、多用途の材としても利用されています。一方、菩提樹は公園の緑陰樹として植えられていることもあります、寺院に植えられていることが多い木です。

というのは、中国に仏教が伝えられたとき、お釈迦さんが35歳のときに49日間の瞑想の果てに悟りを開いたのがブッダガヤの「菩提樹」の下だったとの伝承があったのです。

しかし、実際にインドにあったのは「インド菩提樹」で、これはシナノキ科のものではなく、クワ科のイチジク属で、現在、日本でみられる「菩提樹」とは違います。なぜ間違えて伝えられたのでしょうか？

今から800年以上も前の鎌倉時代に、仏教の禅宗を広めた僧侶の栄西さんが中国の「天台山」（揚子江下流の南側の山岳地帯にある中国三大霊山のひとつで、元々は道教、その後、中国仏教の一大メッカとなった。）に行き、そこに植えられていた菩提樹を、葉の形がインド菩提樹に似ていることから本物のインド菩提樹だと思い込んで日本に持ち帰り、「これが菩提樹だ」としていろんなお寺に植えたという話があります。

ところで「菩提」とはサンスクリット語のBodhi（悟りし者）の音を漢訳したのですが、「菩」はある種の「ホトケグサ」（一種の香草）をあらわし、「提」は手に持って物を捧げる意味なので、「仏草を捧げる」といったそれらしい漢訳とはいえませんが、漢字そのものと「悟り」とはどうも結びつかないですね。でもサンスクリット語の音（おん）を当てた漢字がそのまま日本に入ってきて、死者の冥福を祈って供養することを「菩提を弔う」とかいいますし、また、ある家系の「菩提寺」はどこそこの寺といたり、果ては滋賀県でも現甲賀市の「菩提寺」という地名にまでなったりしていますね。

そのサンスクリット語、現在では仏教関係でしか使われることがまずない言葉ですが、そのまの音（おん）が漢音（古くは呉音）訳で日本にまで移入されているものもあります。例えば、伽藍（Samgharama）、袈裟(kassaya)、奈落（Naraka）、旦那（Dana）などもサンスクリット語の悉曇（しったんSiddham）（法事につかわれる「卒塔婆」の頭にある「竜のおとしこ」が踊ったような字で、一般には「梵字^{ほんじ}」といいます。）の音を漢訳したものです。

ちなみに、ヨーロッパの公園や街路樹でよく見られ、中世ヨーロッパで「自由の象徴」とされ、歌曲等にもでてくる「菩提樹」（例えば、シューベルトの歌曲集「冬の旅」の第5曲「菩提樹」）は同じ「科の木属」の別種「西洋菩提樹（独語：リンデンバウムLindenbaum）」です。

そう、所変われば品（「科」も）変わるということでした。

次回は、「紫陽花」（あじさい）のお話をします。



森づくりトピックス



森の間伐材を利用した クラフト作品

ボランティア活動で植樹や除草作業に来てくださった方々にクラフトづくりを楽しんでいただいています。



木々の成長のために間伐・枝落としされた間伐材。森の大切な資源として利用していますが、その一つに木の実やドングリ・マツボックリと組み合わせて自由にクラフトを楽しんでいただいています。

毎回いろんな発想で自由に組み合わせ、素敵でかわいい作品がたくさん！

大人も子どもも、親子・家族一緒に、皆さん本当に楽しそうに作っています。

お知らせ

第4回森づくりサポーター活動

早春の森が皆さんをお待ちしています。

実施期日 2012年3月3日(土)

活動内容 間伐・枝落とし・シイタケの菌うち



2011年12月末現在

植栽面積	71,073㎡
参加者数	39,284人
植栽本数	141,541本
つどいのゾーン	23,609本
ふれあいゾーン	37,459本
出合いのゾーン	21,158本
里の森ゾーン	59,315本

編集後記

2012年がスタートしましたが、引き続き、森づくり活動へのご支援、ご協力をお願いします。

森では、昨秋もガールスカウトやサポーターの皆さんが菌打ちしたシイタケやナメコがたくさん顔を出しました。3月のサポーター活動での「森ナベ」の材料にしますので、皆さん、お楽しみに！